

世界の未電化地域に小さな明かりを届けています！

We are providing gleam to the un-electrified areas in the world.



“Gleam Candle”は再生可能エネルギーとして近年注目を浴びている、マグネシウムを使用した「注水式マグネシウム電池」にLED搭載の簡易照明器です。

お皿かコップに入れた水に数秒間キャンドルの底部を浸してくださいLEDが点灯します。
(過剰な注水は発電を阻害します)

2～3日で明るさが落ちてきたら、再度少量の水を与えてください。5日から10日間ほど点灯します。(湿度等の環境によります)

“Gleam Candle”は消す必要のない照明器具です。

廃棄する際は不燃ゴミに分類してください。

本品は食べることはできません。



インド初のキャンドル

“Gleam Candle”は注水しなければ5年～10年以上も発電能力を失う事がないため、**災害時の備蓄用**としても最適です。

(保管状態により異なります)

無公害材料を中心に作られているため、廃棄公害の原因になりにくい製品です。

使用後にマグネシウムを**回収-再利用**する事が可能です。

構造がシンプルなため、手作りで生産する事ができます。世界中の未電化地域で**雇用促進**事業として、工場を作る事が検討されています。

明かりに乏しい世界の未電化地域の子も達に夜間でも勉強できると喜ばれています。

水を与えると明かりが灯る～Gleam Candle

Gleam for Dream

初めまして、この度はGleam Candleをお買い求めくださりまして、有難うございます。

Gleam Candleを開発している天野正行です。電子工学を学んだ経験を活かし、現在マグネシウム発電の研究開発に従事しています。2012年は2度インドに渡り電気の供給が乏しいビレッジにキャンドルを持参し、子どもたちに実際に使ってもらいました。日中でも家の中は真っ暗で、夜は廃油を燃やすケロシンランプの僅かな明かりしかありません。Gleam Candleがあればそんな環境の中でも本が読めると、みんな大喜びしてくださいました。

世界中には未電化地域がまだ多数あります。少しでも多くの子どもたちにGleam Candleを届けられたら、彼らが学び、成長した後に新しい産業を興し、国を豊かにして行ってくれるかもしれません。

「未電化地域の子もたちにこのささやかな明かりを届けたい！」

これがGleam for Dreamの活動です。http://youtu.be/I9H0Y4qfwmM



Gleam Ambassador

Gleam Candleを広める方をGleam Ambassadorと命名し、お手伝い戴いています。2013年2月には京都のロックグループMAYBIGがインドのチェンナイで開催された国際音楽祭に出演し、会場をキャンドルの明かりで満たしてくれました。演奏の様子と子ども達の喜ぶ姿はYouTubeでご覧いただけます。

http://youtu.be/TS9Zfx28baA



Gleam Candleは水を注ぐだけで明かりが灯る、新開発の簡易照明器具として高い評価を頂いています。

皆様がお買い上げ下さった数に応じて、世界の未電化地域の子供たちにこのGleam Candleを寄贈しております。2012年夏から始めた活動の第一弾はインドでした。7月末から8月初旬にかけて、チェンナイと首都ニューデリーの隣にあるUP州で合わせて750個、12月の上旬ではチェンナイで500個を未電化の村で子供たちに配布してきました。チェンナイでInstitute of Music Technologyという音楽学校をご夫婦で主宰されている、Radhika Vijayathilakanさんが来日されたので、今年度上期の分として100個寄贈いたしました。Radhikaさんは寄贈されたキャンドルを山岳地帯に住む、あまり文明的ではない生活環境の住民に配布を予定していらっしゃるそうです。

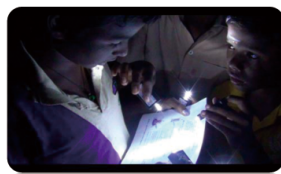


Radhikaさん

この活動は徐々に広がっています。2013年2月チェンナイのISAI Music Festivalでも500個を。10月の末にはモンゴルでマグネシウム発電事業を始めるための、会議が行われ、同時に開催された音楽祭でもGleam Candleが点されたのです！私たちはウランバートル市から表彰されました。国と市からエネルギー問題を解決する事業として始めたいという相談を受けています。マグネシウム発電事業が「雇用創出」にもつながるからなのです。

マグネシウム発電を活用し、今後より明るい照明器具や非常時の家庭用電源の開発も進めて参ります。

A.I.M. Corporation Limitedにご期待ください。



この子が新しい産業を興すかも知れない

夜でも本が読めた！

街から約30Kmの村落で

表彰状を手にMayBigと